

# 令和 2 年 度

## 小学校教員資格認定試験

### 教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

#### 注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、1 教科を選択して受験してください。
3. 問題は 2 問とも解答してください。
4. 解答用紙は、1 問につき 1 枚(表のみ)使用してください。
5. 算用数字は 1 マスに 2 文字、記号及びアルファベットは 1 マスに 1 文字とします。問題において特段の指示があるものは、これにかかわらず問題の指示のとおりとします。
6. 解答する教科名、受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 120 分です。(「教科及び教職に関する科目(Ⅳ)」の解答時間も含まれます。)
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは、文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。
12. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
13. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

# 目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	5
3. 算 数	9
4. 理 科	13
5. 生 活	17
6. 音 楽	21
7. 図画工作	25
8. 家 庭	29
9. 体 育	33
10. 外国語(英語)	37

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

国 語

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 1 学年及び第 2 学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」の「(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」においては、以下の指導事項が示されている。

ア 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。

この指導事項を踏まえ、〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」の(2)で示されている言語活動例「イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動」を行いたい。そこで、第 2 学年の授業で、「日本の昔話を楽しもう」という具体的なテーマを設定して学習活動を進めることとした。

あなたならどのような授業内容を考え、どのような指導を行うか、600 字以上、800 字以内で書きなさい。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)においては、以下の指導事項が示されている。

- ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
- ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

この三つの指導事項を踏まえ、〔思考力、判断力、表現力等〕の「B 書くこと」の(2)で示されている言語活動例「ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動」を行いたい。そこで、第6学年の授業で、「小学校生活を振り返って、思ったこと・考えたことを書こう」という具体的なテーマを設定して学習活動を進めることとした。

あなたならどのような授業内容を考え、どのような指導を行うか、600字以上、800字以内で書きなさい。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

社 会

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」の第 6 学年の内容として、次の事項が示されている。

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

このことについて、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

(1) 上記イの(ア)における「国際交流の果たす役割を考え、表現すること」とは、どのような学習を行うことなのか。120 字程度で説明しなさい。

(2) 上記イの(イ)における「国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉える学習」においては、どのような点に配慮したらよいか。100 字程度で説明しなさい。

問 2 小学校社会科では、「社会的な見方・考え方」は、「社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること」とされている。これを踏まえて、日本の人口について、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えること。

(1) 次の表は、関東地方と近畿地方の人口移動について示したものである。この表を参照しながら「位置や空間的な広がり」に着目し、人口移動から見た東京都と大阪府の共通の特色を、60字以内で説明しなさい。

表 関東地方と近畿地方の人口移動(2015年)

地方	都府県	昼夜間人口比率(%)	従業地・通学地が他の府県である人の割合(%)
関東地方	茨城県	97.5	5.9
	栃木県	99.0	4.2
	群馬県	99.8	3.5
	埼玉県	88.9	16.5
	千葉県	89.7	15.1
	東京都	117.8	4.9
	神奈川県	91.2	14.4
近畿地方	三重県	98.3	3.8
	滋賀県	96.5	7.2
	京都府	101.8	7.0
	大阪府	104.4	3.8
	兵庫県	95.7	7.6
	奈良県	90.0	15.2
	和歌山県	98.2	4.0

[平成27年国勢調査]により作成

(2) 日本の過密と過疎の地域では、それぞれどのような問題が生じているか、「地域の人々や国民の生活と関連付け」て、具体的に問題を二つずつ挙げながら、「人口」という語句を用いて、120字程度で説明しなさい。その際、用いた「人口」という語句に下線を引きなさい(複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと)。



令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

算 数

問 1 「小学校学習指導要領」における第 2 学年の「2 内容 A 数と計算 (2) ア (エ) 加法と減法との相互関係」の指導について、次の問いに答えなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

(1) 「はじめにリンゴがいくつかあって、その中から 5 個食べたら 7 個残った。はじめにいくつあったでしょう。」という問題は、場面の数量の関係表現は減法であるが、計算では  $7 + 5 = 12$  というように加法の計算式になる文章題である。

これを参考に、場面の数量の関係表現は加法の形であるが、計算は  $32 - 17 = 15$  という減法の計算式になる文章題を 150 字以内で一つ作りなさい。

(2) 逆思考の問題場面において演算決定の誤答が少なくない。その要因の一つとして、教師のそれまでの指導上の問題点も考えられる。どのような指導上の問題点が考えられるのか、例を示しなさい。また、この学習を通して児童が問題場面を正しく捉え、加法と減法との相互関係について理解するために、どのような指導が必要なのか 500 字以内で説明しなさい。

問 2 次の手順に従って計算したときに見られる規則性について、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。ただし、数式等を含む記述の場合は、解答用紙のマス目に合わせる必要はない。

任意の二つの 1 桁の正の整数  $A, B$  を選ぶ。(例えば, 3 と 5)

① 選んだ二つの正の整数を ABBA, BAAB のような配置に並べて, 4 桁の整数を二つ作る。(上の例では, 3553 と 5335)

② ①で作った二つの 4 桁の数の差を求める。(上の例では,  $5335 - 3553 = 1782$ )

(1) 様々な二つの 1 桁の正の整数について, 上の手順に従って計算したとき, 求めた二つの 4 桁の数の差には, どのような規則性があるか。下の空欄に当てはまる適切な言葉や式を書きなさい。

手順に沿って求めた二つの 4 桁の数の差は,  になる。

(2) (1)で予想した規則性が成り立つことを証明しなさい。

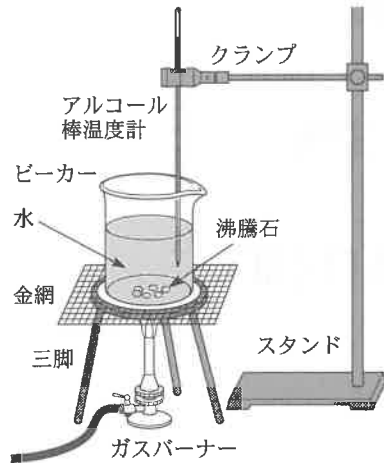
令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

理 科

問 1 11月の晴れた日、第4学年「水の三態変化」において、図のような器具を使って水道水を加熱する実験を行った。児童を班分けし、加熱していったときに出てくる泡の様子を、時間と温度とともに記録させた。ある班が作成した観察記録を次に示す。この実験に関連した下の(1)~(6)の問いについて、解答用紙の行頭1文字目にそれぞれの問の番号を書いた後に答えなさい。



加熱した時間	水の温度	水の様子
はじめ(0分)	18℃	ビーカーの外側が少しくもった。(1分くらいで消えた)
2分	32℃	
4分	44℃	底に小さなあわが数か所あった。
6分	56℃	湯気が出てくるようになった。
8分	66℃	細かなあわがふつとう石やビーカーの底から多く出てきた。
10分	75℃	
12分	83℃	湯気が目立ち始め、ビーカーの内側に水てきがかった。
14分	91℃	主にふつとう石から大きなあわが多く出てくるようになった。
16分	94℃	あわがもつとたくさん出て、ふつとう石が飛びはねていた。
18分	96℃	同じように大きなあわがたくさん出続けて、ふつとうした。
20分	96℃	

- (1) 加熱直後、「ビーカーの外側が少しくもった。」とある。なぜ、そのようになったのか、100字以内で説明しなさい。
- (2) 8分後、「細かなあわがふつとう石やビーカーの底から多く出てきた。」とある。この「あわ」は主に何であると考えられるか。理由とともに、100字以内で説明しなさい。
- (3) 14分後、91℃の時点で、「主にふつとう石から大きなあわが多く出てくるようになった。」とある。この「あわ」は主に何であると考えられるか。理由とともに、200字以内で説明しなさい。
- (4) 18分後、「同じように大きなあわがたくさん出続けて、ふつとうした。」とある。そもそも「ふつとう」とはどういう現象か。「蒸気圧」という語句を使って、100字以内で説明しなさい。
- (5) 水の沸点は100℃である。しかし、観察では96℃で温度の上昇が止まり、その温度で沸騰が続いた。この実験で温度計が100℃を示さない理由としてはどのようなことが考えられるか。一般的な赤色のアルコール棒温度計の正しい使い方とともに、200字以内で説明しなさい。
- (6) できるだけ温度計が100℃に近い値を示すようにするには、図の実験をどのように改良すればよいか。100字以内で考えを述べなさい。

問 2 第 5 学年「植物の発芽，成長，結実」において「植物の発芽には，水，空気及び温度が関係していること」を学習する。このことに関連した次の(1)~(3)の問いについて，解答用紙の行頭 1 文字目にそれぞれの問の番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「発芽」とはどのような状態であるか。「発芽」の定義を 100 字以内で記述しなさい。
  
- (2) A さんは「種子の発芽に水が関係していると思う。」と予想した。A さんはどのような実験をすると，このことが調べられるか。指導に当たって配慮することを含めて，実験方法を 350 字以内で記述しなさい。
  
- (3) B さんは「種子の発芽に温度が関係していると思う。」と予想した。B さんはどのような実験をすると，このことが調べられるか。指導に当たって配慮することを含めて，実験方法を 350 字以内で記述しなさい。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

生 活

問 1 生活科で「自分自身の生活や成長に関する内容」の授業を1年生及び2年生の両方において行う。このことについて、次の各問いに答えなさい。

(1) 各学年での授業においてどのような活動を行うことが想定されるか、それぞれの学年ごとに三つの具体的な活動内容とその目的を書きなさい。

なお、解答用紙の行頭1文字目に「1年生で行う活動」、「2年生で行う活動」と書いた後、活動毎に①～③を付し、一つの活動につき内容と目的を75字以内で書きなさい。

1年生で行う活動(三つ)

- ①
- ②
- ③

2年生で行う活動(1年生のものと重複してはいけない)(三つ)

- ①
- ②
- ③

(2) この学習を行う際に児童に対して配慮しなければならない事項を100字以内で二つ挙げなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に一つ目は(2)①、二つ目は(2)②と書いた後に説明を続けること。



問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 生活科の目標」において「具体的な活動や体験」を「多様な方法によって表現する」学習活動であると記載されている。1 年生の単元「夏を遊ぼう 夏で遊ぼう」及び 2 年生の単元「街の不思議を伝えよう」において、実際の生活科の授業を構想した場合、どのような「多様な表現活動」が想定できるか。

それぞれの授業において五つの異なる具体的な表現活動を例示し、それぞれにおける児童の気付きを具体的に記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)と書いた後、活動の例示と児童の気付き一組ごとに①～⑤を付し、一つの活動につき 70 字以内で書きなさい。

(1) 1 年生「夏を遊ぼう 夏で遊ぼう」(五つ)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(2) 2 年生「街の不思議を伝えよう」(五つ)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

音 楽

問 1 次の(1)~(5)の中から2曲選んで、時代、国や地域、楽曲の特徴や様式、演奏の形態等について、それぞれ100~150字で説明しなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に選んだ(1)~(5)の番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。記号や数字は1文字1マスとすること。

- (1) ヴィヴァルディ作曲《和声と創意の試み》より《四季》
- (2) シューベルト作曲《魔王》
- (3) ジョン・ケージ作曲《4分33秒》
- (4) 宮城道雄作曲《春の海》
- (5) 《アリラン》

問 2 学校教育において取り扱う楽曲の著作者や著作権に関して、次の(1)及び(2)の設問に答えなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)又は(2)の問の番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」の中で、音楽科の教育活動の中で表現したり鑑賞したりする多くの曲の著作者に関して、どのようなことに配慮すべきであると述べられているか、120～180 字で説明しなさい。記号や数字は 1 文字 1 マスとすること。
- (2) 学校教育において、著作権の利用手続きなしに楽曲の楽譜を複写(コピー)して用いることが許されているのはどのような場合か、100～150 字で具体的に説明しなさい。記号や数字は 1 文字 1 マスとすること。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

図画工作

問 1 中学年の図画工作科の授業において、透明なビニールシート(1メートル×5メートルを児童一人に5枚配布)を使った「造形遊び」を行うこととする。このことについて、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に(1)又は(2)の問の番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

(1) ビニールシートを使った造形遊びの授業では、どのような児童の活動が予想されるか五つ列記しなさい(活動場所や活動の内容、児童が工夫するポイントが分かるように記述しなさい)。解答用紙には、一つの活動につき70字以内かつ3行以内で解答し、一つの活動ごとに改行すること。

(2) 上記の造形遊びでは、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三つの評価の観点について、それぞれどのような評価基準をもつのか。各125字以内で説明しなさい。解答用紙には、三つの評価基準を上記の順に解答し、基準ごとに改行すること。

問 2 高学年において「鑑賞」の授業に取り組むことにした。「我が国や諸外国の親しみのある美術作品」を対象とした鑑賞活動以外に、どのようなものを対象とした鑑賞活動が考えられるか二つ挙げ、それぞれの活動の内容と目的を具体的に記述しなさい。解答用紙には一つの鑑賞活動につき4行100字以内で解答し、改行後、その活動の内容と目的を10行250字以内で解答すること。また、二つ目の鑑賞活動を解答する際には、一つ目の解答との間に1行空白を作ること。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

家 庭



問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 1 内容 B 衣食住の生活」には、次の事項が示されている。

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。

この事項に関する次の問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)~(3)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

- (1) 小学校家庭科で扱う「住まいの主な働き」とは、どのようなことかを 200 字以内で説明しなさい。
- (2) 快適な住まい方の「内容の取扱い」に示されている主として取り上げるものの中から三つ挙げなさい。
- (3) 「季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方」を理解するためには、どのような実践的な活動が考えられるか。(2)で取り上げた三つの内容について、それぞれ具体的な活動例を挙げて 400 字以内で説明しなさい。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第1 目標」には、下記の事項が示されている。

(3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

この事項に関する次の問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

- (1) 「家庭生活を大切にすることを育み」とは、どのような意欲や態度を育むことかを200字以内で説明しなさい。
- (2) 上記で述べた意欲や態度は、三つの段階で深まっていくと『小学校学習指導要領解説』には示されている。その三つの段階について600字以内で説明しなさい。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

体 育

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第 1 章 総説 2 体育科改訂の趣旨及び要点 (1)体育科改訂の趣旨 ③ 改善の具体的事項」として、運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導等の在り方について配慮することが示されている。このことと関わって、器械運動に対して①痛みへの不安感や技への恐怖心をもっている児童、②技に対する苦手意識をもっている児童、③仲間との関係づくりが苦手な高学年の児童に対して、具体的にどのように配慮すればよいか、①～③それぞれについて 150～200 字程度で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に①～③の問の番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

問 2 高学年の保健「心の健康」領域について、『小学校学習指導要領解説』における「心の捉え方」と、「知識及び技能」について、下の四つの語句を全て用いて 400～600 字程度で記述しなさい。その際、用いた下の四つの語句に下線を引きなさい(複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと)。

【語句(使用する順番は問わない)】 「感情」 「発達」 「不安や悩み」 「心と体」

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

外国語(英語)

問 1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容」〔第3学年及び第4学年〕〔思考力，判断力，表現力等〕の「(3)言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと〔やり取り〕」の(ウ)に示されているものである。

(ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて，簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。

これを踏まえ，〔第3学年及び第4学年〕における，自分の好みや欲しい物についてやり取りする言語活動の具体的な活動の流れ及び活動の留意点を400字以内で記述しなさい。その際，コミュニケーションを行う目的や場面，状況に配慮した言語活動を想定すること。

問 2 次の文は「小学校学習指導要領」の「第 2 章 第 10 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語」の「3 指導計画の作成と内容の取扱い (1)キ」に示されているものである。

キ 学級担任の教師又は外国語を担当する教師が指導計画を作成し、授業を実施するに当たっては、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行うこと。

この事項に関する次の問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

- (1) 教科外国語でのティーム・ティーチングにおける学級担任の役割について、学級担任の長所を踏まえ、200 字程度で述べなさい。
- (2) ネイティブ・スピーカーに、自分のことやクラスの様子を紹介する英語を 50 語程度で書きなさい。なお、解答に当たっては解答用紙のマス目に合わせる必要はない。